

銀の風



『銀の風』は世界遺産「石見銀山遺跡」から着想を得ています。「石見銀山遺跡とその文化的景観」は人類の平和と人権の尊重をめざすユネスコの世界遺産に登録されています。



『大田市立病院』 2021年10月1日 グランドオープン！

現在、外構及びリハビリ公園を整備しています。
建設中の敷地内保険薬局は、2021年11月に開局
予定です。

- 診療科プロフィール『呼吸器内科』
- 新人看護職員の研修の様子をお伝えします
- 臨床工学科に実習生を迎え入れました
- 病院からのお知らせ／外来診療一覧／編集後記

和
誠意
奉仕

- 1) 大田二次医療圏の中核病院として、5疾病5事業を中心とした急性期医療を提供します。
- 2) 病病・病診連携により、圏域に必要な医療提供に努めます。
- 3) 地域で必要度の高い疾病に対し、保健・福祉と連携した予防から介護までの一体的医療サービスを提供します。
- 4) 訪問看護等を通して在宅医療や地域医療の向上に寄与します。
- 5) 医療水準の向上と安全な医療環境整備に努めます。
- 6) 職員相互の協調によるチーム医療の実践と、よき医療人としての人材育成に努めます。

診療科プロフィール『呼吸器内科』

当院呼吸器内科の特徴

今年度より島根大学医学部附属病院から2名の呼吸器内科専門医が常勤医師として着任しました。また新たに、気管支鏡検査といって肺や気管支の病気を診断するための内視鏡検査を当院で行うことが可能となりました。今までは出雲圏域の病院に紹介となっていた肺癌などの疾患が診断・治療出来るようになり、より地元のかたの負担を軽減した地域完結型医療が可能となっています。



気管支鏡検査の様子
(写真右から呼吸器内科の谷野医師、濱口医師、
島根大学医学部附属病院の栗本医師)

呼吸器内科領域の病気について

- ① 感染症 : 主に肺炎であり、これはいまだに日本の死因第5位に位置しています。病院全体で予防・早期診断・適切な治療を行っています。
- ② 気道疾患 : COPD（いわゆる肺気腫/タバコ肺）が含まれ、これはタバコ煙を長期間吸い込むことで生じる肺の炎症性疾患であり、咳・痰・息切れ症状の原因となります。早急な禁煙が重要であり、薬物療法の中心は気管支拡張薬の吸入です。
- ③ 間質性肺炎 : 肺の壁に炎症が起こり、壁が厚く硬くなるため（線維化）、酸素を取り込みにくくなり咳や息切れが出る病気です。これまでは治療薬のなかった分野ですが、近年は抗線維化薬が使用可能となっています。
- ④ 気管支喘息 : 吸入ステロイド薬の普及により入院が必要な重症喘息発作は減ってはいますが、日本全国で毎年2000人近い人が亡くなっています。重症喘息の患者さんには抗体療法といった新規の治療も行っています。
- ⑤ 睡眠時無呼吸症候群 : 睡眠中に無呼吸を繰り返し、日中傾眠などの種々の症状を呈する疾患です。モニターを装着して就寝する精密検査を行うことで診断が可能であり、CPAP（持続陽圧呼吸療法）による治療を行っています。
- ⑥ ニコチン依存症 : 禁煙を希望されるかたは、貼り薬や飲み薬によってタバコをやめる手助けをすることが可能です。
- ⑦ 肺癌 : 分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬等の新しい抗がん薬が次々に承認されており、患者さんに一番適した治療法をお勧めいたします。当院の外来化学療法室と連携し、積極的に外来通院治療を行っています。

大田市のみなさんへ

患者さんにとって最良の医療を提供することを目標に、エビデンス（科学的根拠）やガイドラインに基づいた診療を真摯に行って参ります。タバコ喫煙によるCOPDは生活の質を落とすとともに肺癌の合併も多いと報告されており、禁煙できれば健康を維持するのに大変多くの利益が生じます。今からでも全く遅くありませんので、ご本人やご家族さんが喫煙されている場合は禁煙をお勧めします！

新人看護職員の研修の様子をお伝えします



今年度は7名の新人看護職員が入職しました。

平成22年度より新人看護職員の臨床研修制度が努力義務化され、技術面だけでなく精神面もサポートしながら新人教育を行っています。

入職後1週間の集合研修では、様々なシミュレーターを用いて実践に活かせる技術研修のほか、看護師として必要なコミュニケーション能力や接遇など社会人基礎力も含め研修を行いました。新人看護職員は1年間、名札に若葉マークをつけています。これから経験を重ね患者さんに安心・安全な看護が提供できるようにしていきたいと思います。

新人看護職員の声

シミュレーターで演習することでイメージがしやすかった

丁寧に指導してもらって安心して学べた

患者さんの状態を観察し声をかけながら安心・安全に実施したい



臨床工学科に実習生を迎え入れました

世界で流行している新型コロナウイルス感染症の影響により、全国の臨床工学技士養成学校の生徒が臨床実習カリキュラムを受講できない状態となっています。その中、出雲医療看護専門学校の臨床工学技士学科より依頼があり、5月と6月に2名の実習生を当院臨床工学科に迎え入れました。



臨床工学技士の行う主な業務である血液浄化装置、医療機器管理業務について見学を中心に実践的な知識を身につけるという教育目標を掲げ、安心・安全に実習を終えることができました。

コロナ禍で厳しい現状ではありますが、今後も「医学と工学から命をつなぐエンジニア・臨床工学技士」の育成に貢献していきたいと思っています。

病院からのお知らせ

地域医療連携室より

退院支援の必要な患者さんの「退院前カンファレンス」において、インターネットを利用したウェブ会議システムを導入しました。このカンファレンスは、患者さん（ご家族）、在宅医療関係者、介護保険サービス事業者、入院主治医、病棟看護師、リハビリテーション療法士、地域医療連携室等が集まって、入院中の治療や看護、リハビリテーションについて情報共有し、退院後の生活を考えることを目的としています。

【ウェブ会議システムを利用したカンファレンスの様子】



川上医院 川上興一先生へ入院主治医の木島医師から、ウェブ会議システムで情報提供している様子

（写真左より、言語聴覚士（当院）、福祉用具業者、訪問看護師、入院主治医、ケアマネジャー、ご家族、病棟看護師）

【退院に向けた話し合いの様子】



入院主治医の向田医師が仁摩診療所 泉司郎先生と退院に向けた話し合いをウェブ会議システムで行っている様子

（写真左より、向田医師、研修中の島根大学医学部学生）

地域医療連携室では、今後も患者さんが安心して在宅で療養出来るようカンファレンスの充実をはかっていきたいと思ひます。

大田市立病院の様々な情報をホームページ・facebookに掲載しています。



大田市立病院
大田総合医療センター
大田市民病院



facebook いいね!
大田市立病院

発行

大田市立病院 広報委員会

〒694-0063

島根県大田市大田町吉永1428-3

TEL: 0854-82-0330

FAX: 0854-84-7749

外来診療一覧

（●初めての受診が可能 ○予約のかたのみ）

令和3年8月2日 現在

診療科	月	火	水	木	金
内科	●	●	●	●	●
神経内科	●		●		
呼吸器内科	●	●			●
消化器科		●		●	
循環器科		●	●	●	
メンタルヘルス科				○	
小児科	●	●	●	●	●
外科	●	●	●	●	●
整形外科	●※1	○	●※1	○	●※1
脳神経外科			●	●	●
皮膚科	●※2	●	●	●	●
泌尿器科	●	●	●	●	●
産婦人科	●	●	●	●	●
放射線科		●		●	
ペインクリニック	●		●	●	●
眼科	●※3			●※3	●※3
耳鼻咽喉科		●		●	
総合診療科		●		●	
リウマチ外来	○			○	
腎臓内科		○			
血液・腫瘍内科			●	●	
ペースメーカー外来					○※4
小児神経外来				○※5	
小児心臓外来		○			
発達障害外来				○※6	
乳児健診		○			
小児予防接種					○
緩和ケア				○※7	
乳がん検診					○※8

【受付時間】

8:30~11:00（予約のかたはこれ以外の時間になることがあります）

※1 予約券をお持ちのかたは 8:30~15:30

（初診の受付を制限する場合があります）

※2 隔週で午後の診察（13:15~15:00）もあります

※3 初めて受診されるかたは 8:30~10:30

※4 第2金曜日14:00~16:00

※5 第1木曜日 ※6 第1または第2木曜日 ※7 第3木曜日

※8 第2・第4金曜日

前週の火曜日または木曜日にレントゲン撮影があります

～編集後記～

ジメジメして蒸し暑く寝苦しい日々が続いています。

夏を元気に過ごすためには、快適に睡眠を十分にとることが必要だと言われています。

快眠をとるには、室内温度を28度くらい、湿度を50~60%に設定する除湿運転が良いとされています。

ぜひ一度試しに除湿運転に設定してもらい、快眠をとって元気に夏を過ごしましょう。

（S・I）

